



三峰川砂防だより

Vol.4

国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
天竜川上流工事安全協議会 三峰川支部 広報誌

H26.10発行



ジオパーク 板山露頭

※ジオパークとは、ジオ(地球)に親しみ、ジオを学ぶ旅、ジオツーリズムを楽しむ場所がジオパークです。
※露頭とは、その地層が直接露出している場所

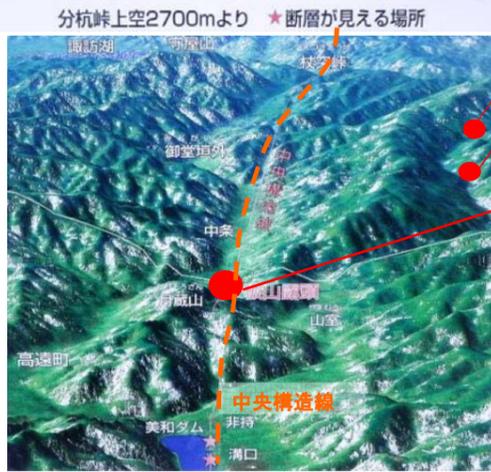
9月27日から9月30日まで、日本ジオパーク南アルプス大会が開かれました。そこで今回は ジオパークのひとつである、中央構造線の「板山露頭※」をご紹介します。
「板山露頭」は高遠市街地から国道152号線を北へ約4km、長藤板山にある正法寺裏の駐車場のすぐ上に位置する中央構造線露頭です。



展望台からの眺め

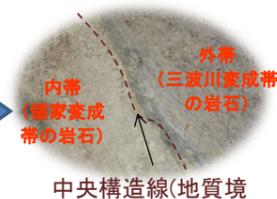
露頭より北側に位置する板山露頭展望台からは、中央構造線のずれ動いた断層部分が侵食されてきたまっすぐな谷を遠望できます。

◆ 高遠町を通過する中央構造線と板山露頭の場所 ◆



板山露頭

山室第2
初ノ沢
板山露頭



中央構造線(地質境)

左右の向きが違う大地がずれ動いてできた境界で、急峻な西側の斜面と緩やかな東の斜面により、全く異なる地質が接している様子が観察できます。

山のけわしさの違いは 大地をつくる岩の違い



谷を境にして、左右の山の険しさが違います。左側(西)はごま塩模様のかたい岩(花こう岩)、右側(東)は緑や黒の薄い板を積み重ねたような崩れやすい岩(片岩)で出来ているので、その岩の性質の違いで、左の山は険しく、右の山はなだらかになっています。谷の両側の岩はもともと隣り合っていたわけではなく、今から数千万年前、離れたところからずれ動いてきて接しました。その接した境目が「中央構造線」です。中央構造線の部分は砕かれていてもろいので、水の流れるによって削られてまっすぐな谷になりました。



板山露頭入口

「高遠そば」

板山露頭の位置する高遠町には高遠城址公園の桜以外にも、高遠そばが隠れた名産です。



高遠の山間部では、昔から「からつゆ」と呼ばれる焼きみそと辛味大根を合わせたツユでそばを食する文化がありました。露頭を見た後はぜひ「高遠そば」ご賞味してはいかがでしょうか

現場紹介

平成25年度天竜川水系山室第2砂防堰堤工事 施工 浅川建設工業

本工事は山室川本川に3基目の砂防堰堤を作る工事です。

砂防堰堤のために通行できなくなる市道の付け替え工事を施工していましたが、9月からは砂防堰堤の工事にも着手しています。



これから秋の長雨や台風シーズンに突入し土砂災害の危険が高まりますので細心の注意をもって工事を進めてまいります。

付替道路完成しました

付替え道路は4年の年月を経てようやく完成しましたので、間もなく通行ができるようになります。

砂防堰堤は9月に入りコンクリートを打ち始めました。12月中旬には工事完成を目指して作業中です。



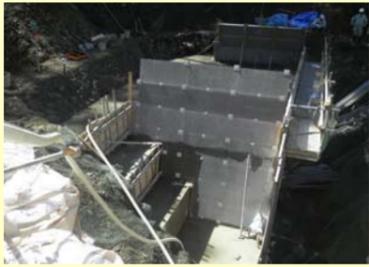
完成した付替道路



現在の砂防堰堤の様子

残存型枠工法のご紹介

コンクリート構造物をつくる場合、今までは型枠を組立てコンクリートを流し込み固まったら型枠を解体する工法を採用していましたが、今回の砂防堰堤では残存型枠工法を採用しています。残存型枠工法とは、コンクリート製のパネルを型枠の代わりに組立、コンクリートを流し込んだ後もそのまま残して置く工法です。型枠を解体する手間を省けるので省力化と工期の短縮が可能です。コンクリートパネルと打込んだコンクリートが一体化させるために穴の開いたタイプの「残存型枠」を使用しています。型枠の固定は専用の金具があるので熟練工に依存する事も少なくて済みます。



組立の様子



残存型枠パネル

三峰川砂防出張所管内の工事実施箇所 (H26.9月末)

ここまで作業が進みました！！

番号	工事名	施工業者	進捗率
①	平成25年度 天竜川水系初の沢砂防堰堤工事	清野建設(株)	47.7%
②	平成25年度 天竜川水系山室第二砂防堰堤工事	浅川建設工業(株)	50.1%
③	平成25年度 天竜川水系女沢川砂防堰堤工事	(株)ヤマウラ	51.3%
④	平成25年度 天竜川水系三峰川砂防流域除石工事	(株)ヤマウラ	65.8%
⑤	平成25年度 天竜川水系大久保谷川砂防堰堤道路工事	(株)宮坂組	79.5%
⑥	平成26年度 天竜川水系三峰川砂防出張所管内整備工事	廣瀬建設(株)	22.1%
⑦	平成26年度 天竜川水系長谷地区砂防施設補強工事	浅川建設工業(株)	15.0%

※施工場所は、右記地図内の番号

※⑥の工事については、三峰川砂防出張所管内全域において、各種作業を実施



平成25年度天竜川水系初の沢砂防堰堤工事
堰堤計画箇所の掘削を実施しました。掘削面を安定させるための対策を実施していく予定です。

平成25年度天竜川水系長谷地区砂防施設補強工
4箇所の内、塩沢堰堤で作業中です。副ダムと呼ばれる、低い堰で、水が流れる部分に堅いゴム板を取り付けていきます。

ご意見・ご要望等ございましたら、出張所までお伝え願います！！

国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所 三峰川砂防出張所 TEL0265-94-2059